

(19) 事業者へのヒアリング (その6)

■ 産業がつくった運河と蔵の風景

／株式会社 ミツカングループ本社

取組のポイント

- ミツカングループによる醸造蔵の保存・活用や空中配管の埋設、国による運河の石積み護岸整備など、官民一体となった運河及び沿川整備により、半田市を代表する景観を形成している。
- 歴史的な工場建物の耐震強化、衛生管理面の強化が今後の課題。

① 官民一体となった半田運河の景観形成

- ミツカングループが江戸・明治時代に建設した黒板囲いの醸造蔵を現在も活用することで、維持管理を行っている。
- 運河については、国が石積み護岸を整備し、(株)ミツカンは工場間をつなぐパイプを運河の下を通し、工場周辺の電柱の地中化をおこなうなど、官民共同で昔の面影を今に残す配慮が行われている。
 - ・「かおり風景100選」(環境省)・・・2001年10月選定
 - ・「水辺のユニバーサルデザイン大賞2005」で優秀賞を受賞(NPO法人ユニバーサル社会工学会主催)
 - ・半田市が半田運河周辺の歴史的な街並みを保全する「景観重点整備地区」に指定

② 水の文化センターにおいて「水の文化」を普及・啓発

- 水の文化センター(東京都中央区)は、ミツカングループが社会貢献活動の一環として1999年に設立したもので、「水」と「人々の暮らし」との深い関わりを「水の文化」として捉え、「水の大切さ」を啓発するとともに、「水」に対する意識の向上を目指している。
- 活動内容は、研究活動を核に出版事業、ライブラリー事業、イベント事業など

研究活動

- ・「水にかかわる生活意識調査」
- ・1995年に第1回目の調査を実施して以来、ほぼ同じ内容で毎年6月に実施。

講演会

「水の文化交流フォーラム2005」

リスクに強い水利都市
～水循環がつくる21世紀の里<都市>とは～



2005年11月29日 東京(草月会館)

機関誌



20号(2005年8月)



21号(2005年11月)



22号(2006年2月)

昭和初期の半田ミツカン工場周辺図

(提供：(株)ミツカングループ本社)



運河に残る
空中配管



運河の下に埋設した
空中配管



株式会社 ミツカングループ本社
事業内容：食品製造
本社所在地：愛知県半田市中村町2丁目6番地